

第 29 回法医画像勉強会 開催後記

令和 8 年 3 月 14 日(土)、滋賀県草津市の草津市立市民総合交流センター「キラリエ草津」において、第 29 回法医画像勉強会を開催いたしました。参加者数は 61 名(会員 38 名、非会員 6 名、賛助会員 3 名、学生 2 名、講師 2 名、スタッフ 10 名)と、年度末のご多忙な折にもかかわらず、全国各地より多くの皆様にご集結いただきました。

本勉強会のプログラムは、特別講演 2 題および一般演題 12 題にて編成いたしました。

特別講演では、まず滋賀医科大学放射線医学講座教授の渡邊嘉之先生より「画像診断における人工知能の進歩」と題してご講演を賜りました。放射線撮影および読影技術における AI の飛躍的な進歩から、今後の発展可能性、さらには実活用における留意点まで、最新の知見を分かりやすくご提示いただきました。続いて、滋賀医科大学救急集中治療医学講座教授の塩見直人先生より「画像診断から考える救急医療と法医学との連携」と題してご講演をいただきました。救急医療の現場における死因究明の実情とともに、救急から法医学への情報連携ツールとしての画像データの重要性について、臨床現場の視点から貴重な示唆をいただきました。

一般演題では、計 12 題のご発表をいただきました。非常にタイトなタイムスケジュールではございましたが、終始活発なディスカッションが交わされました。本分野に対する関心の高さと、学問的な広がりを感じて実感する機会となりました。

勉強会終了後は、草津駅近隣のイタリアンレストラン「トラットリアデラメーラ」にて懇親会を開催いたしました。スタッフを含め 45 名にご参加いただき、会場では尽きることのない議論や、所属を超えた親睦を深めることができ、非常に有意義なひとときとなりました。

この度は、第 29 回法医画像勉強会を開催する機会をいただき、誠にありがとうございました。開催にあたり多大なるご指導を賜りました法医画像研究会役員の先生方、ならびに多忙な日常業務の傍ら、準備から当日の運営まで尽力してくれた教室スタッフの皆さまに、心より感謝申し上げます。

次回の第 30 回法医画像勉強会は、令和 8 年 9 月 26 日(土)、東京大学の槇野陽介先生を世話人として開催される予定です。第 30 回という節目の会に合わせ、ワークショップやシンポジウムの開催も計画されております。次回もまた、多くの皆様と会場でお会いできることを楽しみにしております。

滋賀医科大学社会医学講座法医学部門 中村 磨美

【勉強会風景】



【懇親会風景】

